



新年の無病息災を願う

寒風が吹きつける中、岡町地区で行われた「裸参り」。締め込み姿で練り歩く男衆は、威勢の良い掛け声で新年の無病息災を願いました。

新春のあいさつ

深浦町長 吉田 満

平成27年の輝かしい新春を迎え、町民の皆様には、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

町民の皆様には、平素から町政運営の各般にわたり、深い御理解と御協力、御支援を賜り、誠にありがとうございます。

西暦2015年の年頭に当たり、一言ごあいさつを申し上げます。

昨年は御嶽山の噴火や広島の大集中豪雨による土砂災害など、国内においては甚大な被害が発

を及ぼしました。

さて、我が国の経済状況は、消費税増税後の景気低迷により、国内総生産（GDP）がマインナス成長となつてるところであります。政府はこれに対し2兆円から3兆円規模の経済対策として、低所得者層や中小企業などへの支援、米価下落への緊急対応や円安に伴う原油高対策に取り組まれるようであり、今後の日本経済の立て直しに期待するところであります。

当町の財政状況につきましては、平成25年度一般会計決算においては、6年連続で黒字決算となったところであります。町の歳入の半分以上を占める地方交付税が、町村合併による特例期間の終了により、平成27年度から段階的に削減されることから、国の政策の動向に十分留意し、今後も緩めることなく行財政全般にわたる改革を持続的に進めて参る所存であります。

平成27年度予算の編成につきましては、厳しい社会情勢を十分認識しながら、深浦町第二次総合計画を基本として各種計画の実行を図るとともに、国の新たな経済政策「地方創生」等に注目しつつ、思い切った事務事業の見直しを進め、限られた財源の重点的かつ効率的な配分を

図り、町民福祉の充実を始めとした地域振興策を総合的かつ戦略的に展開して参ります。

さて、このような社会情勢下における深浦町の基幹産業でございますが、まず農業につきましては、国の農業施策の大幅な改革が断行されている中で、経営所得安定対策・米の直接支払交付金単価が半減され、改革初年度から稲作離農に追い討ちを掛けるような大幅な米価下落により、再生産が困難な状況にあります。町といたしましても、国・県や農協等関係機関団体の動向を見据えながら、何らかの形で再生産支援をして参りたいと考えております。

漁業につきましては、漁港の機能保全に努めながら、栽培漁業の推進と併せ「つくり育てる漁業」の展開を図って参ります。

また、昨年、町では農林水産物の高機能ブランド化と地域資源の調査、研究開発を通じた地域活性化を図るため、弘前大学食料科学研究所と連携・協力する協定を締結したところであり、今後は産学官連携の研究会を立ち上げ、民間事業者とともに建設地の適性や水質環境、事業採算を調査し、つくり育てる漁業の新しい可能性に期待を寄

せているところであります。

次に、商工観光であります。国・県の融資対策事業の活用を推進し、農商工連携による事業を推進するため、地域資源を活用した取組を展開し雇用創出に努めて参ります。

観光面では、デビュー1年目で4万食を提供するという快挙を達成した「深浦マグロスティーキ井」が、当町に大きな経済波及効果をもたらしており、「深浦マグロ料理グランプリ2014」の開催や新・ご当地みやげとして開発された「ザ・深浦マグロカレー」など、マグロを資源とした一連の観光振興策は、各方面で大きな反響を呼んでおり、引き続き地域経済の活性化につなげて行きたいと考えてるところであります。

町の保健・医療・福祉関係につきましても、地域包括ケアセンターを中心に町民の健康づくりを推進しているところでありますが、とりわけ、住民の健康増進については、特定健康診査・特定保健指導をはじめ、健康寿命の延伸を図るため、各種がん検診の無料化による受診率の向上に努めるなど、短命町返上の取組みを実施しながら保健活動を重点的に展開して参ります。

ただきたいものであります。

議会と互いに切磋琢磨しながら、町政発展のための支援と協力は惜しまない覚悟であります。町の更なる発展を念願し、住んでよかったと思えるまちづくりの実現に向けて、努力して参りたいと願うものであります。

どうかこの一年が町民皆さまにとつて明るく飛躍の年となりまして、年頭のあいさつといたします。

年頭にあたって

深浦町議会 議長 小野 文之



町の更なる発展のため引き続き議員一同一丸となつて努力してまいりる決意であります。

議会は、町長、その他の執行機関との立場や権能の違いを踏まえ、常に町政と緊張ある関係を保ちながら、町民の皆さまの福祉の向上や町政発展に寄与していかねければなりません。

新年あけましておめでとうございます。昨年中は町民の皆さまより温かいご支援とご理解を賜り、厚くお礼申し上げます。平成27年、2015年が良き年になりますよう、深浦町議会を代表して謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

本年4月には、議員改選を迎えますが、昨年同様身近な議会、開かれた議会を念頭に議会運営に努めてまいります。深浦

加えて年末の衆議院の総選挙が行われ自民・公明の連立与党の統投が確定いたしました。

日本は、急激な人口減少・超高齢化が進むという事態に接し、地域創生、少子化対策や暮らしの安全・安心、教育の再生や安全保障を推進することが急務とされています。今がピンチをチャンスに変える大きな機会であり、町民が豊かで暮らしを実感できる振興策を期待するものであります。

当町におきましては、数十年に一度という豪雨災害にみまわれ、長慶平へ行く道路の決壊、北金ヶ沢地区の床上、床下浸水や大間越地区の路盤流出によりJR五能線が1か月に渡り通行不能になるなど、各地区で甚大な被害を受けましたが、関係者の迅速な対応により、早期復旧が図られ安堵しているところであります。

基幹産業であります農漁業においては、米価の下落や県内一の水揚げのマグロの未成魚の漁獲制限、商工業では、買物弱者対策、観光客入り込み数の減少など、解決しなければならぬ問題が数多くあります。

このような現状の中、町の課題の解決に向けた施策の展開を推進し町政発展にまい進してい

2014年

まちの出来事

▶1月

1月5日 消防団出初式
1月6日 新春町民放談の集い
1月30日 深浦町文化賞・スポーツ
賞表彰式

▶2月

2月16日 芸能発表会
2月23日 生涯学習まちづくりフォー
ラム

▶3月

3月14日 JR五能線快速「深浦」廃止
3月16日 医食農連携フォーラム

▶4月

4月17日 白神十二湖山開き安全祈
願祭
4月19日 沿道美化清掃
4月30日 深浦消防署落成

▶5月

5月15日 森林セラピー基地「十二
湖の森」オープン
5月26日 深浦町防災訓練

▶6月

6月7日 町民スポーツフェスティ
バル・小学校体育大会
町民総決起大会
6月26日 深浦マグロ料理グラン
プリ

▶7月

7月2日 木造高深浦校舎流倒木回
収（笹内川）
7月10日 海開き安全祈願祭
7月21日 岩崎中学校卓球部が県中
学校体育大会夏季大会で
初優勝
7月22日 産学官連携・協力に関す
る協定締結調印（町及び
弘前大学食料科学研究所）

▶8月

8月6日 町内で集中豪雨発生（住
家被害23件、公共施設
等被害額2億円超）
8月9日 新・ご当地みやげ「ザ・
深浦マグロカレー」発売
8月14日 前関診療所長柳善佑氏逝
去
8月14日 津軽風待ち湊ふかうらヤ
ットセ（～15日）
8月14日 深浦町成人式
8月18日 深浦町平和祈念祭

▶9月

9月6日 水産物高機能化ブランド
フォーラム
9月14日 ふかうら平均寿命アップ
フォーラムで健康のまち
づくり宣言
9月15日 歩け歩け大会
9月18日 生きいき健康福祉祭

▶10月

10月15日 町づくりグループミーテ
ィング（参加者：柳田地
区老人クラブ等）
10月18日 チャンチャンまつり（～
19日）
10月31日 木造高深浦校舎ウッドチ
ップ敷設（十二湖）

▶11月

11月2日 深浦町文化祭作品展（～
3日）
11月15日 ふかうら芸能祭
11月22日 深浦会東京総会・交流会

▶12月

12月15日 サーモン養殖実証事業に
関する三者連携協定締結
（町、弘前大学食料研究
所、㈱オカムラ食品工
業）
12月25日 世界自然遺産子ども交流
プログラムin白神山地
（～27日）



連携協定を手にする（左から岡村社長、嵯峨所長、吉田町長）

新たな産業 養殖事業へ期待

120億円の一大プロジェクト始動
12月15日、町と水産食品製造業の㈱オカムラ食品工業（岡村恒一社長）、弘前大学食料科学研究所が「サーモン養殖実証事業に関する三者連携協定」を締結し、新たな産業創造としての生食用サーモンの養殖事業が動き出しました。
青森市のホテル青森で行われた協定式では、嵯峨直恒食料研所長が「本事業は大きな可能性を持っている。三者が連携を図り、地域振興の役に立ちたい」、岡村社長は「世界ではサーモンの需要が年9%拡大している。深浦でのサーモン養殖で、関連する加工、流通部門を含め雇用を生み出していきたい」と抱負を述べ、吉田町長は「水産物の持続可能な提供を目指していく。地域活性化、ふるさと創生に結び付けたい」と、決意を語りました。
また、三者のそれぞれの強みについては「機能的、応用性を含めた研究による技術的サポート（弘大食料研）」、「養殖技術の導入と輸出事業の展開（オカムラ食品）」、「豊富な水量と土地の確保（町）」を挙げ、それぞれの得意分野を生かしながら、サーモン養殖実証事業を通して、海藻をはじめとした水産物の高機能ブランド化に関する検討や分析を進めることとしています。



協定締結を青山副知事（写真右）に報告。飼育技術の情報提供等県も実証事業をバックアップ

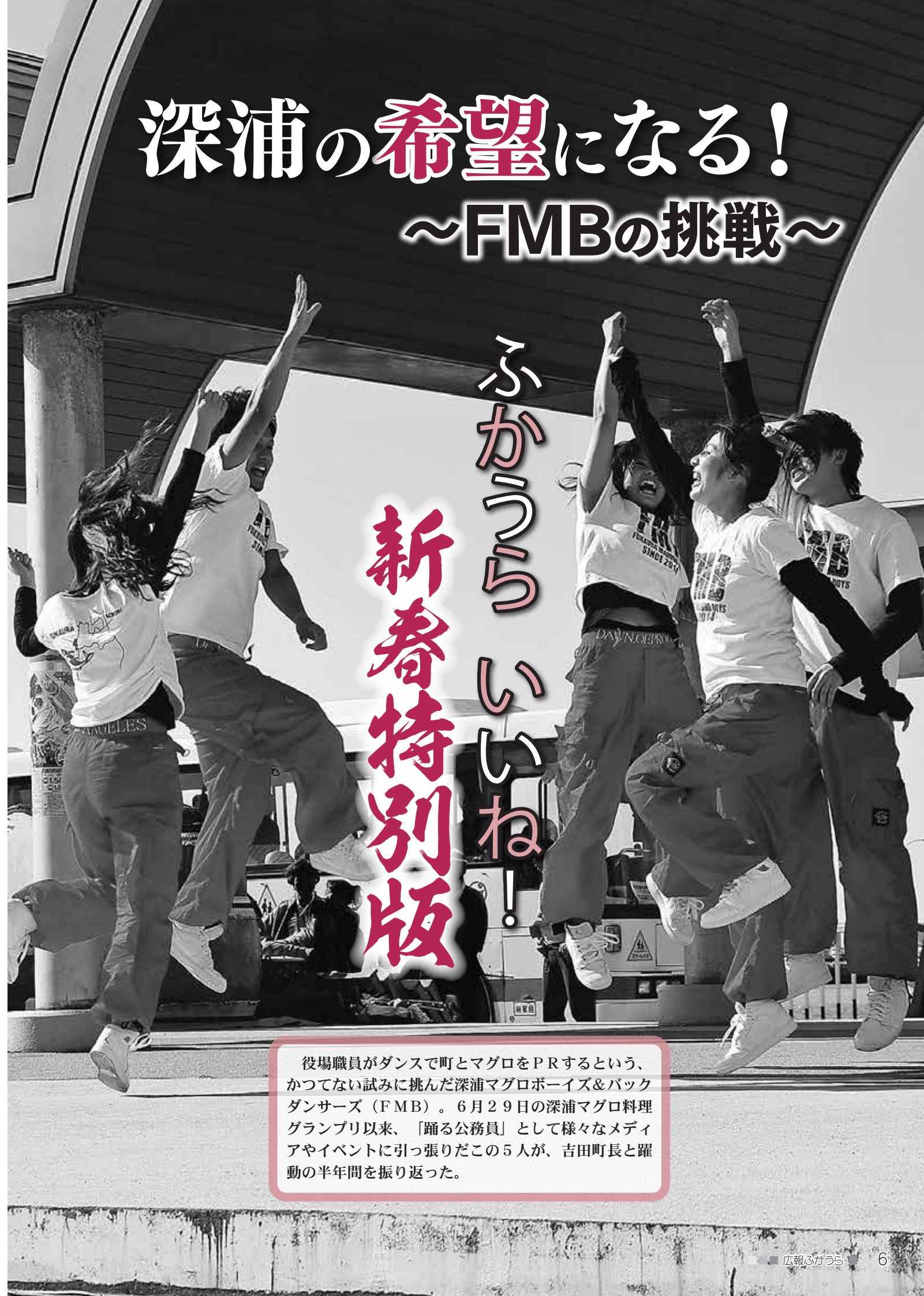
この実証事業は、来年度から稚魚のふ化、育成からなる中間養殖に着手。再来年には海水を汲み上げ、水温や水質をコントロールした陸上養殖を行う構想で、成魚の出荷は3年後を見込んでいます。
当町において、これまではワカメの養殖等があったものの、産業としての養殖事業はほとんどない状態。10年後には、数量1万t、出荷額120億円、養殖、加工事業合わせて350名ほどの雇用創出を見込む一大産業化を目指しており、産学官による地域創生のモデルとなりうる連携事業に、多方面から大きな注目が寄せられています。

深浦の希望になる！ ～FMBの挑戦～

ふかっ
うら
いい
ね！

新春特別版

役場職員がダンスで町とマグロをPRするという、かつてない試みに挑んだ深浦マグロボーイズ&バックダンサーズ（FMB）。6月29日の深浦マグロ料理グランプリ以来、「踊る公務員」として様々なメディアやイベントに引っ張りだこの5人が、吉田町長と躍動の半年間を振り返った。



不安だらけのスタート

吉田町長

今年のFMBの活躍はすごいものがありました。他の人はどうか分らないけど、始めにヒロ中田さんからダンスをするって聞いたときに、これはいけると思っていました。リーダーは決まっていたようだけど、メンバーはどうやって選んだ？選ばれたときはどう思った？

佐藤健吾リーダー（サトケン）

リーダーとしてメンバーを選んだ条件は、20代前半でやる気がある人。自分がリーダーなので年が近い人がいいなあと思っていました。当初は男5人で探していましたが、最終的には男2人、

女性3人に落ち着きました。

三浦羽美（ウミ）

正直、いきなり何を言い出すのかと思っていました（笑）。あとのメンバーに入っていくのかなあと。不安もあったが、信頼できる健吾がリーダーだったので、大丈夫だと思いました。積極性に欠けていた自分を変えるいい機会だし、素晴らしい経験になると思って参加しました。

山下幸菜（ユキナ）

一番初めに思った事は不安感。ダンスをやったこともないし、どういう形になるのか想像もつきませんでしたがこのメンバーと一緒に頑張れると思いました。

小枝佳乃子（カノコ）

最初はみんなと同じく不安な気持ちだったけど、このメンバーに選ばれたことがすごくうれしかったです。私は中学校でバスケットを教えています、私が頑張っている姿を見て、生徒が自分たちも頑張れる、というふうになってくれたらいいなと思って、このオフアートを引き受けました。

福沢海斗（カイト）

最初に健吾さんから話をうけたのは、たしか去年の年末。2つ返事で「いいっすよ」と軽いノリで引き受けました（笑）。犠牲になった時間も無いとは言えないですが、得るものが多かったと思います。

町長 ダンスの経験が全くない皆さんが、五所川原などでのレッスンに向向いたのはどういうことがきっかけ？役場にダンスを踊るために入ったのではない（笑）のに大変だったと思うけど、練習はいつから？

佐藤 マグステ井で関わった関係者の紹介です。練習は2月中旬から始めました。まずはリズムが大事ということで、最初はアップ、ダウンのリズムを繰り返していました。

町長 4月に新聞に大きく報道されたけど、マスコミを意識し始めたのはいつころ？

小枝 新聞もそうですが、ネットにも掲載されてコメント欄にもいろいろ書



佐藤健吾 平成22年採用。見た目は今どきの青年だが、町に対する思いは熱いものがある



福沢海斗 平成24年採用。優しく穏やかな感じだが、足にボルトが入ったまま踊るほどの根性を持つ



高橋誠先生（写真右）とダンスの最終チェック。レッスンはほぼ毎週行われた



山下幸菜 平成24年採用。ステージ映えるキラスマイルで新聞に大きく取り上げられた



三浦羽美 平成21年採用。若者らしくないことを気にしているが、その分振付けと笑顔は完璧にマスターしている



小枝佳乃子 平成24年採用。体育会系らしく、勢いと躍動感あるダンスで観客を引きつける

かれていたのを見た時は、すごく不安でした。でも、ここまできたらやるしかないと思いました。

町長 最初は不安が多かったと思うけど、どうだった？これだったらいけると思ったのはいつ？

佐藤 自分はやれる子たちを選んだと思っていたので、不安はありませんでした（一同苦笑）

三浦 大丈夫だと思ったのは、デビューした6月29日のマグログランプリの時。来てくれたお客さんの声援や拍手を聞いて「やってきてよかった」と思いました。さっきも話に出た否定的なコメントの件もあり、踊るまではそういう人もいると思って不安でしょうがなかったけど、自分たちを受け入れてくれる人がたくさんいて、これからもどんどんPRしていくと思いしました。

山下 新聞に大きく出た時に、中途半端なダンスはできないなと思って、練習にも力が入るようになり、吹っ切れました。

小枝 最初からヤル気満々だったので、あまりでしゃばらないようにしました（笑）。



深校祭にゲスト出演。学生とともに盛り上がり会場は活気にあふれた（写真提供：木造深浦校舎）

福沢 マグログランプリ前の五所川原での最後の練習の時に、大丈夫だと確信しました。

頑張る姿勢はきっと伝わる！

町長 マグログランプリでは、多くの人皆さんの躍動する姿を見て感動したと思う。実際泣いている人もいたしこれはすごいことで、人に感動を与え、それは簡単ではないけど、逆に不安から始まってそこまで到達したのはある意味うらやましい。終わった後はどんな気分？

佐藤 テンション上がっていて、気持ちいいです。

町長 絶対そうだと思う。そういう笑顔が素敵なんだよね。その笑顔が伝染していく。それから追っかけになってしまった（笑）。60歳になってアイドルを追いかける人の気持ちが変わったというか、これを見逃したら後悔すると思う。鰯ヶ沢のイベントまで出かけた。そういう人は多くいるはず。チャンチャンまつりでも踊ったし、今後の予定は？

佐藤 1月は2件オフアをもらっています。

町長 これから結婚式の余興でオフアがくるかも（笑）。普通に考えたら「役場職員がこんなことできるわけない」と考えるのが大半だったと思うが、その中で学ぶものや考えたことはあつ

た？

佐藤 公務員のイメージが変わったかなと思います。役場職員は事務仕事はほとんどだと思われていますが、衣装を着て元気にダンスをする姿を高校生に見せることで、若い人たちの公務員へのイメージアップと役場職員としての深浦のイメージアップにも貢献できたと思います。

三浦 私と同じで、家族の友だちや周りの人から「役場職員も頑張っているね」と言われて、町のイメージアップにつながるっていると実感しています。「できるわけがない」で、挑戦しないのはもったいないことだと学びました。

山下 始めは消極的な意見があったりしましたが、踊ってみると応援してくれる人もいて、とても嬉しくやって良かったなと感じています。

小枝 始める前はネットでいろいろ叩かれたりしましたが、やってみたいとわからないこともあり、実際やってみたらすごく楽しかったです。この経験を私たちより若い人たちにも伝えていきたいなと思います。

福沢 始める前から批判はあるなあと思っていました。応援してくれる人もいて励みになりましたし、いい意味で「公務員のイメージが変わった」というのが一番うれしかった言葉です。

感謝の気持ちを胸に、来年はパワーアップして小っちゃな子からお年寄りまで踊れるダンスを覚え、PRしたいです。常にスキルアップを心がけていきたいと思います。

佐藤 FMBの活動費には、料理人さんが販売したマグステ井の箸袋収入も含まれています。料理人さんに感謝しつつ恥じないよう元気にダンスしていきます。

深浦のPRと深浦マクロのPR。深浦の希望になれるよう頑張りたいです。日常生活では規律を守っていききたいです（笑）。

町長 皆さんは町民に元気を与えているけど、実は皆さんが町民から元気をもらっている。芸能人が注目されて輝くように、町のPR隊としてどんどん出て行ってほしい。いろいろと話は尽きませんが、半年間お疲れ様でした。これからも活躍を期待しています。



鰯ヶ沢でのイベントにはテレビ取材が駆け付け、ダンスパフォーマンスを撮影

感謝の気持ちを忘れず飛躍の年に
町長 マグロ推進協議会の西崎会長もそうだが、役場職員のなかで「地域を活性化しないといけない」、「町を元気にしたい」と普通に言えるのはすごい。もちろん役場の仕事ベースになるが、町の閉塞感を打破しようというモチベーションが皆さんは高いと感じる。目標達成できない人はすぐに言い訳をする。それはマイナス思考から始まる。弱音はあったかもしれないけど、皆さんには意外とそれがなかったのかと思う。プラス思考を持った5人が集まったのはすごいことだし、地域を変える原動力になるので頑張ってください。地域に元気を与える皆さん

あとがき

新聞紙面を大きく賑わせた「踊る公務員」。ネットでは活動を批判するコメントもあり、5人が感じた不安は相応なものがあったに違いない。さらに、休日はレッスンに充てる日々。普通であれば途中で投げ出してもおかしくない状況である。

だが、額に汗を浮かべ楽しそうに踊る姿からは、不思議と悲壮感を感じられない。「やるからにはとことん楽しもう」覚悟を決めたかのように、ステージ上で躍動するFMB。「町を元気にしたい」との思いを込めて、キラキラの笑顔とキレのあるダンスを披露する姿に、多くの観客が「やればできる」、「元気をもらった」と感じたはずだ。

6月のデビュー以来、町に差し始めた一筋の光。若い力が「深浦の希望になる」日も、そう遠くないと感じた半年間であった。



から、支えてくれた家族に対して感謝の言葉はある？
福沢 おやじとおふくろにいろいろと迷惑をかけてきたので、いつか恩返しできればと思っています。
小枝 小・中・高とバスケットを続けて、毎日家に帰ってくる時間が遅かったのに、ごはんもあり、お風呂もわいていました。それを当たり前だと思っている自分が悔しくて、最近早く家に帰

って一緒にごはんを作っています。これからもよろしくと言いたいです。
山下 お弁当も作ってくれるし、雪かきもしてくれる。甘えてしまっているなと感じています。感謝しています。ありがとう。

三浦 家族には感謝の言葉しかありません（涙）。

佐藤 何か恩返ししたいと思った時にFMBが始まり、頑張っている姿を見て母親が「こういう風に育てて良かった」と思っていてくれたらいいです。母親には感謝しかないです。

町長 では、最後にFMBと個人的な来年の抱負をどうぞ。

福沢 FMBの2曲目のダンスを覚えたいです。個人的にはどこに行っても対応する力を身に付けたいです。

小枝 歌って踊れるFMBにしたいです（笑）。せっかくダンスを習ったので、子どもたちにダンスの楽しさを教えたいと思っています。

山下 FMBでは行けるところまで行きたいです。個人的には、プラス思考を心掛けていきたいです。

三浦 今年の活動は吉田町長を始め、たくさんの人に支えられました。応援してくれる人への

12/20 鮮度抜群の魚に笑顔満開

新深浦町漁協北金ヶ沢荷捌所において、お魚即売祭が開催されました。

同漁協では、海難救助や藻場の維持保全等、水産の多面的機能向上活動を実施。今回は、前沖で獲れたヒラメやフクラギ等の鮮魚販売の他、食文化伝承として活〆ヒラメの刺身や海鮮浜鍋の振舞いを行いました。

鮮度抜群の魚を求めて訪れた方々は、漁師と直接会話をし、楽しさに加え、市価より3割ほど安く購入できるとあり、自然と頼も緩んでいました。



漁師との会話で楽しいひととき



2連覇を達成した「マリナーズ」

「マリナーズ」が2連覇

11月25日から2週間にわたって行われたナイターバドミントン大会がこのほど終了し、「マリナーズ」が2連覇を飾りました。

昨年から3チーム増え8チームが参加した大会は、A、Bの2リーグで実施。なじみの選手が多数参加し、バドミントンを通してお互いの親睦を深めました。

なお、大会結果は次のとおり。

Aリーグ優勝 マリナーズ 準優勝 Y A R I X
Bリーグ優勝 レッグスルー 準優勝 トウナ缶Premium

12/24 雪道の歩き方にご用心!

高齢者の冬場の交通安全を図ろうと、鰯ヶ沢警察署交通課による交通指導が、しらかみのさとで行われました。

県内の交通事故の半数が高齢者で、そのうち4割が歩行中の事故とのことで、デイサービス利用者約30名は、明るい服装で平坦な道を歩き自分の身は自分で守ろうというアドバイスに、耳を傾けていました。

鰯ヶ沢警察署では、施設を訪問して交通指導するのは今回が初めて。高齢者の事故防止に向けて、今後も交通指導を行うこととしています。



自分の身を守る方法に聞き入る



雪深い十二湖を散策

12/26 銀世界の十二湖で交流

12月25日から27日にかけて、世界自然遺産こども交流プログラムin白神山地が、十二湖などで行われました。

昨年、いわ小児童が屋久島を訪れて始まった交流は、今回は白神山地が会場。屋久島から小学生8名が来町し、冬の白神山地を楽しみました。

屋久島の児童は、いわ小児童とスノーシューでの銀世界の十二湖散策。雪深い森や凍らない青池などを回ったほか、午後には屋久島、白神双方での活動内容について発表し、互いに交流を深めました。



みなさんの身近な話題・行事・出来事などの情報をお寄せ下さい。

深浦町企画財政課 企画調整係
電話 74-2113

ウォッチング

12/1 楽しく習って脳を鍛える

脳を鍛える「脳の健康教室」の修了式が、フィットネスプラザゆとりで行われ、関係者が6か月間に渡った受講の思い出を語り合いました。

65歳以上の4人に1人が認知症や予備軍と言われている中、自身の脳を鍛えようと、町内3教室で計48名が受講。読み書き計算教材や数字盤を使用し、楽習サポーターのアドバイスを受けながら楽習に取り組みしました。

楽しく学んで認知症を予防し、受講者にも好評の同教室は、来年度も実施予定となっています。



おかげさまで脳のしわが増えました



玉ねぎが目に!涙をこらえてみじん切り

12/13 料理の道は険しい!?

町食生活改善推進委員会主催のこども料理教室が深浦町公民館で行われ、保護者を含む19名が料理作りを学びました。

子どもたちは、2班に分かれて料理スタート。おにぎりやスパニッシュオムレツやすいとん等、野菜たっぷりのメニューに挑戦しました。

玉ねぎが目に染みたり、じゃがいもが床に落ちたりと調理に悪戦苦闘しながらも、子どもたちは食改員の協力を得て料理を完成。苦労して出来上がった料理に、充実した表情を浮かべていました。

12/20 5世代揃って長寿を祝う

ながだい荘(鰯ヶ沢町)に入所している根上こよさん(北金2区)が、100歳の誕生日を迎えました。

根上さんは、1914年(大正3年)旧赤石村生まれ。1933年(昭和8年)に結婚し、子ども4人と孫7人、ひ孫9人、玄孫2人に恵まれました。

歌や体操が好きで、施設の行事に何でも積極的に参加している根上さんは、吉田町長からの顕彰状のほか、玄孫から花束を贈られると「皆さんのおかげです。ありがとう」と、笑顔を見せていました。



玄孫から花束を受け取る根上さん



パパと踊る妖怪体操第1(は最高！)



ピートルくんよりももちゃんが人気！？

キャラクター訪問に大喜び

元気な子どもたちと交流するクリスマス恒例のアオーネ白神十二湖及びウェスパ椿山の町内保育園特別訪問が、12月中旬から下旬にかけて行われました。

このうち、16日には、アオーネ白神十二湖の「サンタパッパ」がぎらら保育園を、24日には、ウェスパ椿山の「ピートルくん」、「モモちゃん」がみよし保育園を訪問。園児たちは大喜びで、それぞれ今年ブレイクした妖怪ウォッチの「妖怪体操第1」をキャラクターと一緒に踊りました。

園児たちは、キャラクターから一足早いプレゼントを受け取ると、笑顔で「ありがとうございます」とお礼を言い、マスコットに抱きつくなど、うれしくてたまらない様子。にぎやかな雰囲気の中、交流を楽しみました。



地域に根付く伝統文化を継承

年末の恒例行事である「裸参り」が町内各地で行われ、「サイギ、サイギ」と威勢のいい掛け声を響かせた男衆が、新年の五穀豊穡と豊漁を祈願しました。

このうち、17日には舩作地区で実施。横なぐりの雪が降り続く中、14名の男衆が月夜見神社へ参拝し、その後伝統芸能である餅つき踊りを披露しました。

また、30日に行われた岩崎地区裸参りには、20名が参加。奉納の速さで豊作、豊漁を占う習わしがあり、男衆は号令とともに神社へ奉納。今年は海側の宗像神社の奉納が速かったことから、新年の豊漁が期待されています。

各地区とも男衆の声が聞こえてくると、一目見ようと沿道に地域住民が集まり、地域に根付く伝統文化を見守っていました。



風雪に負けず餅つき踊りを披露(舩作)



30kgほどのしめ縄を背に練り歩く(岩崎)

12/3 寒い冬こそ元気に運動！

寒さによる運動不足の解消を目的とした深浦町連合婦人会による屋内研修会が町民体育館で行われ、約50名の会員が参加しました。

午前の部は、ラジオ体操を行ったあと、NHKで放送している「元気あつぷる体操」に挑戦。深浦町スポーツ推進委員の指導のもと、戸惑いながらも動作を覚えていき、ほとんどの方が上手にできていました。

午後にはグラウンドゴルフ大会を開催。打ったボールが狙いどおりにいかず悲鳴を上げる方がいれば、ホールインワンを4回も達成する方もおり、会場は大いに盛り上がりました。

上位10名は個人賞が贈られ、また団体対抗では深浦支部が優勝。「寒い冬も乗り越えられる」気持ちになる、笑顔が絶えない1日となりました。



元気あつぷる体操で全身運動



ホールインで笑顔にっこり



味覚はもちろんパッケージなども細かく審査



新たに認定を受けた事業者の皆さん

12/19 ふかうらのいいものに10品目認定

町内産の原材料を使用した加工商品や1次産品の町特産品認定式が行われ、新たに10品目が特産品として認定されました。

認定式に先立ち、11月には認定委員会が出品作を審査。深浦らしさや味覚、完成度などの審査により、農水産物を原料として製造・加工した「名産品部門」に9品目、農水産物1次産品の「特産物部門」に1品目が追加され、全認定品は48品目となりました。

このうち、未利用魚を加工した2品目が認定された企業組合広福丸の古川広志さん(北金ヶ沢)は「前年の3倍の生産を目指したい」と、気持ちを新たにしていました。

今回の認定品を含めて、町では特産品のお中元セット等の販売を検討し、積極的にPR、販売促進をはかることとしています。

大切な御縁をいただいたお客様に ~ありがとう~ と言われる仕事を心掛けています。

家族葬から一般葬・社葬まで
ご予算に応じた御葬儀を
提案・施工いたします。

ご用命は
任せて安心の

厚生労働省認定

1級葬祭ディレクター在籍店



株式会社 深浦葬祭

Fukaura Funeral Service

電話(74)4536

FAX:74-4546

従業員
募集中

病院・施設等からの搬送は安心の緑ナンバー車！
「一般貨物自動車運送事業(霊柩)第497号」
365日・24時間受け付けております。

冬期営業時間が変わりました。

お正月明けの2015年1月5日(月)より、3月31日(火)まで各店舗の営業時間を変更いたします。
春には通常の営業時間に戻りますので、本年も変わらぬご愛顧をよろしくお願い申し上げます。

展望温泉	7:00~20:00 (第2・第4火曜はメンテナンスのため17時から営業)
レストラン	11:00~20:00 (ラストオーダー 19:30※宴会予約は21時まで対応)
物産館	9:00~17:00 (毎週水曜定休/スロープカー冬期運休)
ガラス工房	9:00~17:00 (毎週火曜定休/創作体験予約制※前日までに要予約)

ウェスパ 椿山 038-2327 青森県西津軽郡深浦町舩作鍋石226-1 0173-75-2261

ラーメン101季節限定メニュー



特濃ちよい辛 担々味噌 七〇〇円 濃厚な胡麻のヨクド香りに こだわった特製ラー油！ 隠し味に 加えたリンゴ酢！ 深浦町民屋裸森24 ☎75-2161 営業時間11時~15時(火曜定休)



健康万歩計は、西北五医師会が、皆さんが健康で元気に過ごすための必要な情報を提供し、ドクターからのアドバイスを紹介するコーナーです。

今月のドクター 山本洋平先生
山本耳鼻咽喉科・院長



花粉症について

花粉症とは、特定の季節にくしゃみ・鼻水・鼻詰まり、目・鼻・喉のかゆみ等の症状が続く病気です。空中を飛散する植物の花粉が目や鼻の粘膜に接触する事によって、過剰な反応が起きて発症すると考えられています。鼻は通常、体に入ってくる空気中のゴミを排出するために、鼻水で洗い流したり、くしゃみをして吹き飛ばしたり、鼻の粘膜が腫れて中にゴミが入らないようにしています。このゴミを排出する機能が過剰に働きすぎると、大量の鼻水が止まらなかつたり、くしゃみを連発したり、鼻詰まりが続くようになります。

花粉症の原因として最も有名なのは春のスギ花粉だと思います。青森県ですと3月上旬～中旬位から飛び始め、4月上旬に飛散のピークを迎え5月上旬頃に終息します。スギ以外に花粉症を引き起こす植物としては、5～6月頃に多く飛散するイネ科の雑草類（カモガヤ・ハルガヤ等）と8月後半から9月にかけて飛散するキク科の雑草類（ヨモギ・ブタクサ等）等があります。スギを含めたこの三種類が日本の三大花粉症とされています。

治療については薬による薬物療法が基本になります。一昔前の花粉症の薬は副作用として眠気や口の乾きを伴う事が多く、使い辛いものが多かったのですが、最近薬の改良も進んで以前ほど眠気等は出にくくなってきています。気をつけていただきたいのは薬を飲み始める時期についてです。症状がひどくなる少し前、ほんの少し鼻がむずむずする、連発はしないけどくしゃみが出る、程度の時期から飲み始めるのが効果的とされています。初期投与療法といいますが、早めに治療を開始する事によって症状の悪化のピークを小さくする事が出来るのです。スギ花粉の場合ですと、少量飛び始める3月上旬～中

旬くらいからが良いでしょう。

4月上旬に花粉飛散がピークを迎え、症状が激烈になってから治療を開始してもそこから症状を抑えるのは大変なので注意が必要です。スギの花粉については毎年飛散予測が発表されていますから、大量飛散が予測される年は特に早めの治療を考えてみてください。ちなみに津軽地方の平成26年の飛散数は少なめでしたが、27年の飛散予測は平年並みかやや多めとされています。

もちろん薬さえ服用していれば全ての症状を抑えられる訳ではありません。治療中であっても大量に花粉と接触するとやはり症状は悪化しますので、花粉対策が重要です。基本的に花粉は暖かくて風が強く、天気の良い日に大量飛散しますので、そのような日は可能であれば外出しないのが一番です。出かけなければいけない時は出来るだけ最小限の時間にして、隙間が小さくなっている花粉症用のマスク・メガネを装着しましょう。また帰宅時には玄関先で服や髪についた花粉を払い、うがい・洗顔等で洗い落としましょう。窓も昼間に開けていると室内に花粉が侵入しますし、洗濯物も外で干すと衣類について室内に持ち込まれるのでこの時期は要注意です。風邪や寝不足等で体調を崩していたり、過度の飲酒や喫煙で体に負担をかけている時も花粉症の症状は悪化しますので気をつけてください。

青森県花粉情報研究会では、スギの花粉時期に青森県内各地の花粉飛散数を実測し、ホームページで公表しています。

(<http://www.kafun-aomori.jp/>) 飛散開始時期の予測も記載されていますので、是非参照されてみてください。

肩こり・腰痛・筋肉のほぐし他

カイロプラクティック施術（全身） ￥3,000
お試し15分（骨盤調整） ￥1,000
フェイシャルケアコース ￥5,000

＜健康グッズを取り扱っています＞ご相談ください！
布団、枕、骨盤保護パンツ、健康補助食品（サプリメント）、化粧品・・・etc

カイロプラクティック院 らっきー

深浦町大字風合瀬字大磯135(2階) 上晴山バス停隣
【問合せ】080-6042-7173(山下)/不定休

ふしぎな癒しの

レストラン WASABI

レンタルルーム 1h 2,000円（12人まで持ち込み自由）
5.1chカラオケ無料 ホットプレート等使用時2,500円
フリードリンク&フード 3h お一人様2,000円～4名様より

場 所 JR十二湖駅前

連絡先 E-mail yoshio_akiho@coffee.ocn.ne.jp
yoshio.akiho1206@docomo.ne.jp

FAX 77-2902

「全ては、お客様の笑顔のために！」



教育委員会教育課社会教育係の社会教育推進に向けた取組みについて紹介します。

「平成26年度西北地区社会教育振興大会」が 10月17日深浦町で開催されました

西北五地区の市町の社会教育関係者が一堂に会し、研究討議及び情報交換を行い、今後の生涯学習活動の支援に資することを目的に本大会が深浦町民文化ホールで開催されました。

講演では、『自分の夢へのプロセス』と題し、深浦町づくり応援隊「いいべ！ふかうら」副代表 山本千鶴子さんが現在の活動に至るまでの経緯や今後の活動予定など、ユーモアを交えながら町に対する思いを熱く語ってくれました。

午後の事例発表では、五所川原市・鯉ヶ沢町・中泊町の取組みが紹介され、参加者との質疑応答が繰り広げられました。

大会には西北五地区の社会教育関係者（社会教育委員、公民館運営審議会委員、スポーツ推進委員、社会教育関係職員・公民館職員、生涯学習に関心のある方など）総勢100名ほど参加され、それぞれの地域における生涯学習社会に向けた取組みや課題について意見交換がなされました。



町づくり応援について熱く語る！
「いいべ！ふかうら」
副代表 山本千鶴子さん

深浦町スポーツ推進委員4名が永年勤続で表彰される！

東北地区功労者表彰 中川さん 青森県功労者表彰 葛西さん、伊藤さん、岡田さん
永年の功績（東北地区15年、県10年）が認められ表彰されました。おめでとうございます。

深浦町スポーツ推進委員って何？

近年、少子高齢化や核家族化、地域社会における人間関係の希薄化など、人々を取り巻く社会環境は大きく変化しています。そうした中、スポーツ推進委員は地域社会において生涯スポーツの実現に向け、地域スポーツのコーディネーターとして大きな期待が寄せられています。

町ではスポーツを通じて活力ある、健康で楽しい町づくりを目指して15名の方にスポーツ推進委員を委嘱しています。

「主な役割」

町のスポーツ行事のサポート役として協力。

・町民スポーツフェスティバル・秋の軽スポーツフェスティバルなどの競技説明員や審判員。普段は町体育協会のメンバーとして活動し、県民体育大会などに監督・コーチや選手として活躍され、その他、町スポーツ少年団指導者とし小学生の選手育成にもご尽力されています。



左から 岡田友美さん、中川真澄さん
葛西忠さん、伊藤正之さん
受賞おめでとうございます。

たけくま動物病院 TAKEKUMA SMALL ANIMAL HOSPITAL

秋田県能代市藤山114番地
TEL 0185-89-2666

◎診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝日
午前	9:00～12:00	○	○	10:00 12:00	○	○	10:00 12:00
午後	3:00～6:00	○	○	3:00 5:00	○	3:00 5:00	1:00 3:00

「思いやりの心」と「明るく誠実に接する」動物病院を目指しています。
狂犬病予防注射は病院で随時接種できます。

入院施設有

往診快諾

- ペットホテル・トリミング有
- 避妊・去勢手術随時受付
- 狂犬病・フィラリア・混合ワクチン予防実施
- 各種検査・健康診断(血液・レントゲン・超音波・内視鏡・心電図等)





深校だより

2年次修学旅行

12月1日～5日、4泊5日の日程で2年次の修学旅行が行われました。
初日はバスとJRを乗り継ぎ、12時間をかけて広島まで移動しました。
2日目は、船で安芸の宮島にわたり、厳島神社の見学をしました。当日は、晴れてはいたのですが、とても冷たい風が吹いていました。生徒は、海の中に自立する赤い大鳥居を目にし、昔の人たちの知恵や卓越した技術に思いをはせていたようです。

その後、バスで原爆ドームに移動しました。こちらは、全国からの修学旅行生であふれかえっていました。平和記念資料館に、原爆に関する様々な史料が展示されていました。熱で溶けてしまった食器など、一発の原爆の投下で被った様々な被害状況を前に、生徒たちは絶句していました。そして、今の世が昔の人の苦勞の上に成り立っており、そのおかげで自分たちが平和な時代を生きていることができているという実感を深めたようです。

3日目以降は、清水寺など京都の寺社仏閣や、ユニバーサルスタジオジャパンなどを見学し、たくさんのお土産を作ることができました。

高校生活で一番思い出にのこった行事として多くあるのが修学旅行です。生徒たちは、今回の旅行を通して、教科書や授業で出てくる日本の歴史的な遺産に生で触れることができました。そして、昔の人たちの様々な工夫



知恵、あるいは避けられない出来事の上に今の私たちの生活が成り立っていることに気づくことができたようです。そして、後世の人々のために今の自分ができることは何かを考えるきっかけができたようです。
また、クラスメイトと寝食を共にすることで、それまで気付かなかった、相手の別の魅力を発見したり、新しい人間関係を築いたりすることができたようです。

地域力向上・発信セミナー

12月9日、深浦町農村環境改善センターを会場に、地域力向上・発信セミナーが開かれました。参加者は、鯉ヶ沢高校1年生と、本校全校生徒です。参加者は、鯉ヶ沢高校1年生と、本校全校生徒です。参加者は、鯉ヶ沢高校1年生と、本校全校生徒です。

まず、三重県多気町でまちの宝創造特命監として活動しており、県立相可高校調理クラブによる高校生が経営するレストラン、「まごの店」開店のきっかけをつくった岸川政之さんの講演が行われました。

その中で、「今夢が見つからない人は、自分の今やれることを一生懸命やるのが大事である。そういう生き方の中から夢を見つけ、自分の未来を変えていくことができる」というお話がありました。

私たちは、何かをやる前から、これは無理かもしれない、と逃げ腰になり、自分のせつかく抱えている夢に挑戦せず、あきらめてしまうことがあるかもしれません。

しかし、それは本当に無理なのでしょうか。本気で取り組むことで、目の前にたちふさがる壁を乗り越えてしまうことだってあるかもしれません。

1月の行事予定

1月19日(月) 百人一首大会
25日(日) 簿記検定
27日(火)～30日(金) 3年次期末考査

町民文化云々

俳句

しづるるや物おじしな 大さ蔵
杖となる妻の手ぬくし 冬すみれ
ときどきは汽車が止まりし 神無月
しづるるや鍛冶屋の鞆膨らみて
杖を持ち背すじ伸ばして 冬が来る
小春日や介護の母の杖になる
一張羅出がけを 俄時雨かな
白神の峰晴れ渡る 神無月
神無月喪中ハガキに見る 愁ひ
底知れぬ波の一徹 神無月

村上 鮎里朗
坂本 りき
田浦 木乃美
石田 かつら
田浦 恵美子
草野 瑛子
山本 正一郎
乳井 光昭
蒲田 吟竜
草野 力丸

編集後記

年末の清水寺にて、日本漢字検定協会が発表した2014年の漢字は「税」。

では、我が家における漢字一文字は何だろうと、考えてみました。いろいろある中で、真っ先に浮かんだのが「踊」。ジャンルは違えども、2人の子どもがダンスに取り組み、充実した年となりました。

踊ることの基礎を学んだ昨年に続き、2015年は心躍るように楽しみ、躍動し、活躍できるよう、様々なことにチャレンジしてほしいと思います。

「広報ふかうら」も、さらに飛躍できるよう紙面作りを考えていこうと思います。本年もよろしく願います。

大幸の宿
ふかうら文学館

今月の一冊

真夏の海辺で、地球のグルメが大活躍！

『異世界でカフェを開店しました。4』

甘沢林橋／著

アルファポリス／発行

料理の不味い異世界で、地球の料理を広めるべくカフェを開店した、リサの活躍を描く第四巻です。

リサの経営するカフェは、オープンして四年を数え、お客様からの評判も上々の有名店です。

リサはカフェのメンバーへのお礼にと、皆で夏のバカンスの慰安旅行に出かけます。

行き先の隣国スーザノウルは砂浜のビーチが広がるリゾート地。宿泊した海風亭は、海が近くて眺めも良く、経営している夫婦もとても親切、料理もおいしい素敵な宿です。

けれど、なぜか他の宿泊客の姿がありません。海風亭の夫婦に聞くと、隣に別荘を建てた貴族から、営業妨害されているらしいのです。

リサは海風亭の力になるうと、料理で客を呼び込むために、海水浴場での軽食販売に乗り出します。

リサの生み出したのは、スーザノウルの食材をアレンジして作ったトルティーヤ。果たして海風亭は活気を取り戻せるのか。

今回もまた続きが気になって目が離せない、おすすめの本書です。

※著者は深浦町岡町出身の松沢明美さんです。



このコーナーでは、大幸の宿ふかうら文学館がおすすめする書籍を紹介しています。

戸籍の窓

11月21日～12月20日までの戸籍届出



お誕生おめでとう

鈴木 麗叶(宣登) 轟 木



おぐやみ申し上げます

島元 てみ(77歳) 3区
木庭袋 隆昭(84歳) 5区
山谷 正美(64歳) 7区
工藤 その(93歳) 広戸
櫻庭 きみゑ(89歳) 風合瀬
兼平 喜四郎(90歳) 田野沢
大川 豊則(83歳) 北金1区
脇川 正美(80歳) 北金3区
岩森 みき(82歳) 沢辺
工藤 嘉一郎(90歳) 黒崎

深浦町の人口と世帯

《12月末日現在》()内は前月比

男 …… 4,325人 (-7)
女 …… 4,850人 (-9)
計 …… 9,175人 (-16)
世帯数 3,890世帯 (-4)

深浦町の総面積 488.86km²





このコーナーでは、元気いっぱい園児達の作品をご紹介します。

きらら保育園のなかよしたち

「小学校でも羊のようにみんな仲良く！」

(上段左から)

ささもり ゆづ きさん (6さい)
はらた み うさん (6さい)
かわむら ゆづ きさん (5さい)

(下段左から)

くまがい めい ささん (6さい)
かわむら かいせいくん (5さい)
はらた そういちろうくん (6さい)
さいとう しゅんくん (6さい)
つるた ひ なさん (6さい)



みんなに元気です！

このコーナーでは、
1歳を迎えたチビッコ達
をご紹介します



はると
長坂 陽斗ちゃん
(父 康史さん 母 未久さん) 船作



ゆうひ
竹内 雄飛ちゃん
(父 崇さん 母 加奈子さん) 塩見崎



ゆきほ
平沢 幸歩ちゃん
(父 一臣さん 母 花恵子さん) 鷹木



ふくのすけ
阿部福乃介ちゃん
(父 丈亮さん 母 亜希子さん) 柳田

＊寄附者の紹介＊

ふるさと納税制度を利用したご寄附を次の方からいただきました。

- 田野沢地区出身
- 東京都板橋区
- 東京都新宿区
- 東京都武蔵野市
- 愛知県豊田市

吉山 秋元 深浦会東京会員
田本 坂元 様
博祥 和邦 様
樹司 夫夫 様

ありがとうございました。

